Broadband
conference system

LightWeb 取扱説明書

取扱説明書　／　総合マニュアル

Ver.9.101

作成：カスタマーサポートセンター

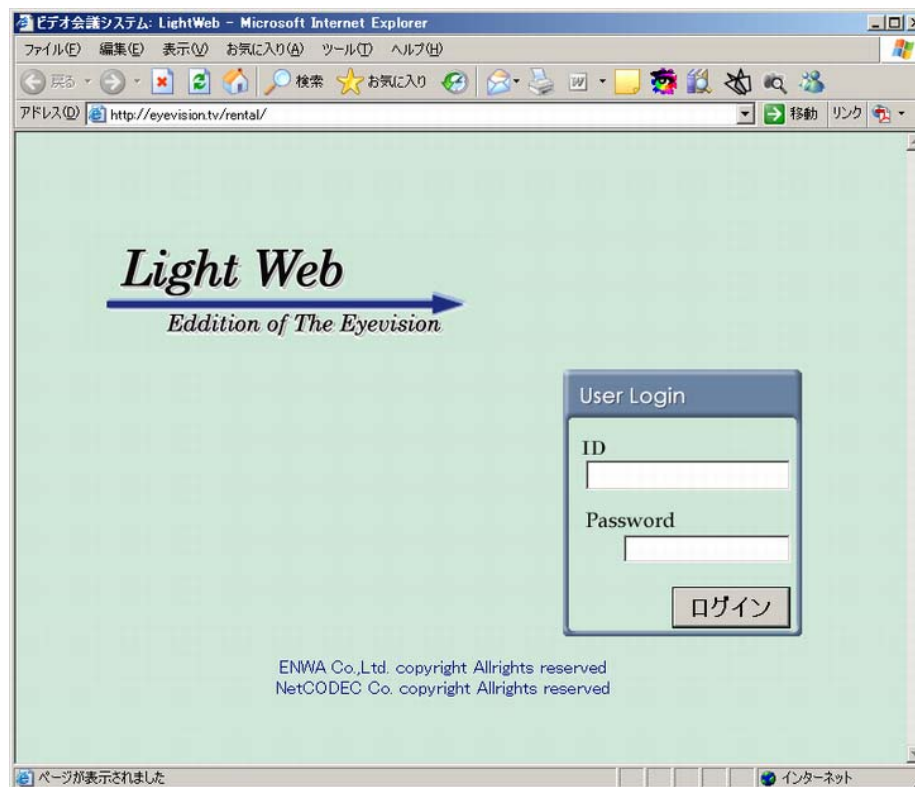
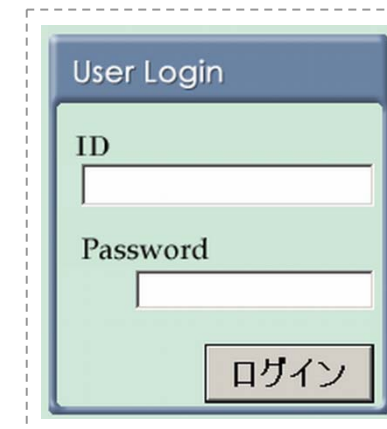
はじめに

ログイン

プラグイン

■ログイン■

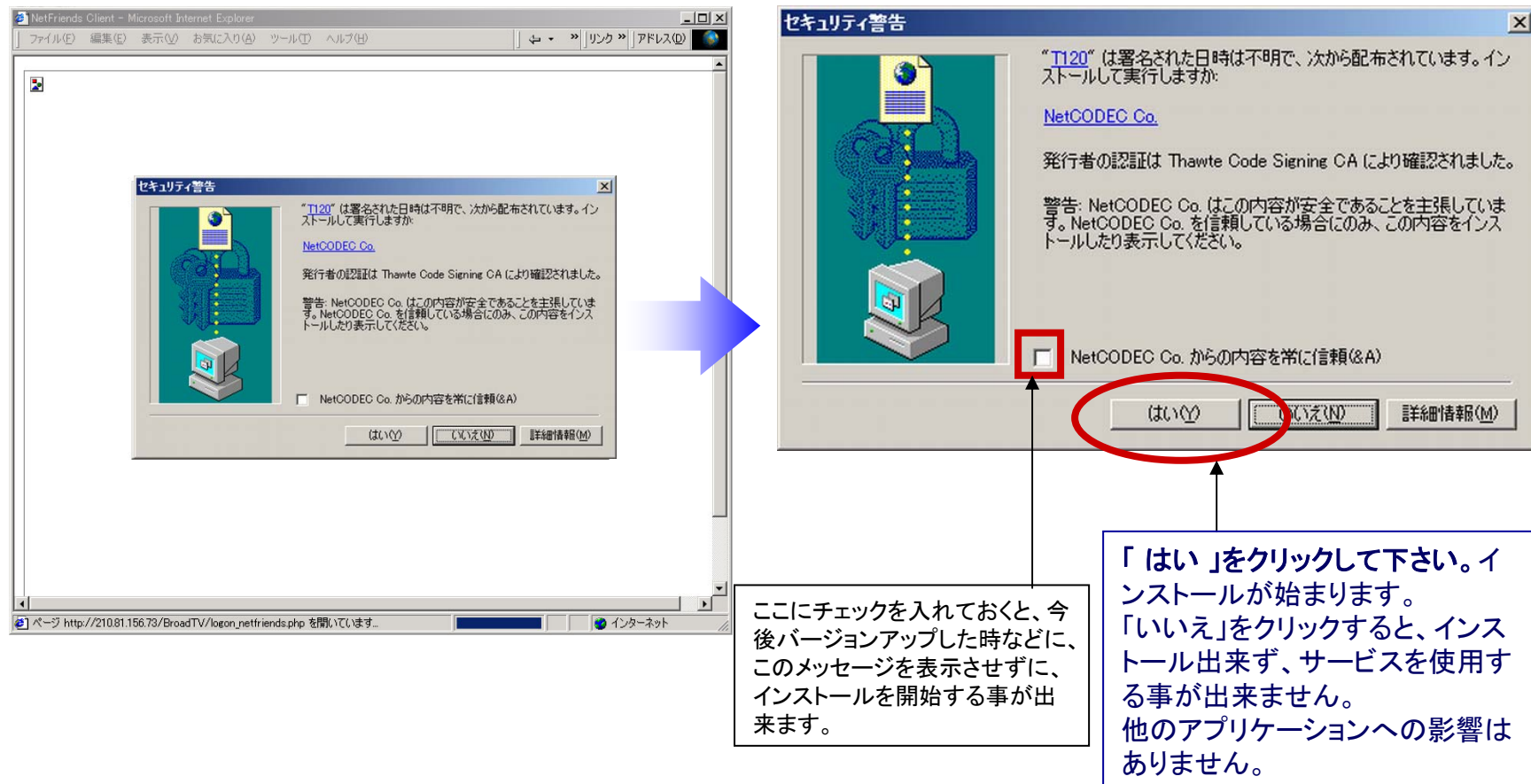
まずブラウザ上で指定のURLを開き、トップページよりログインして下さい。
また、一度ログインをしている状態で、別のPCで同じIDでログインすると、後からログインするPCが優先されます。
（先にログインしているPC上では、「サーバーによって切断されました。」とポップアップが表示がされ、ご利用は中断されます。）

http://lightweb.tv/○○○○

（LightWebのトップページ）

（イメージ）

※こちらの「メンバーログイン」枠に、設定されたIDとパスワードを入力し、ログイン」ボタンをクリックして下さい。
ID又はパスワードを間違えると、「サービス未登録メンバー」と表示され、再度トップページに自動的に戻ります。

■プラグイン■

「LightWeb」を初めて利用するPCでは、ログイン後、プラグインのインストールが必要となります。
インストールは多少時間がかかりますが、そのままお待ち下さい。（下図参照）

■プラグインファイルの削除■

LightWebインストール前の状態に戻すには、次のプラグインファイルを削除願います。

1. T120キャブファイルの削除
ホルダ名　c:¥windows¥Downloaded Program Files
ファイル名　EyeVisionT120 Control

プログラム ファイル	状態	合計サ...	作成日時	最終アクセ...	バージョ...
EyevisionT120 Control	インストールされています	1,756 KB	2006/09/02 10:43	2006/09/24	2,6,9,221

2. 各種iniファイル、sknファイルの削除
ホルダ名　c:¥windows
ファイル名　EyeVisionで始まる全てのファイル

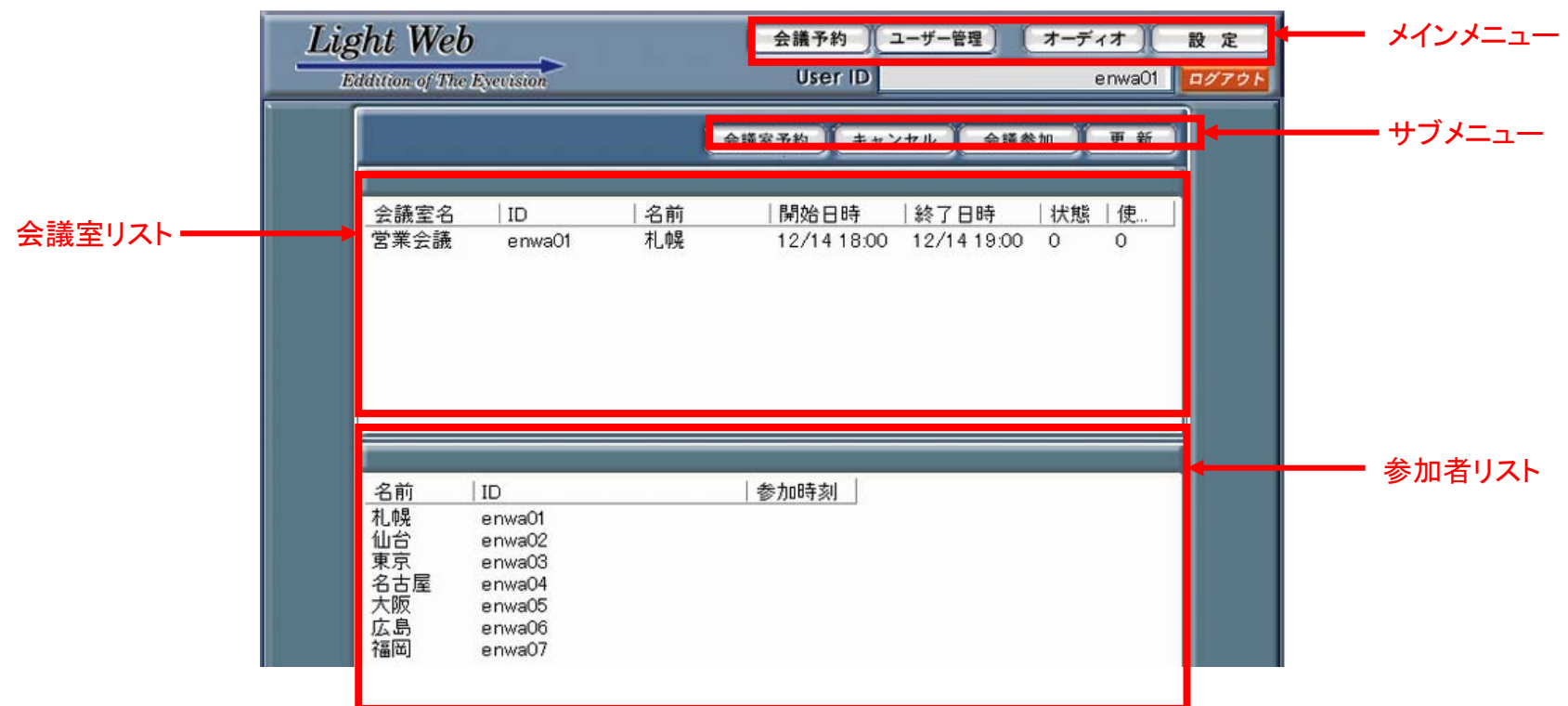
EyeVision	13 KB	構成設定	2006/09/03 9:40
EyeVision_Buddy.skn	442 KB	SKN ファイル	2005/06/17 11:13
EyeVision_ConferenceRoomDlg.skn	432 KB	SKN ファイル	2005/06/17 11:26
EyeVision_conferRoom.skn	375 KB	SKN ファイル	2006/08/26 22:26
EyeVision_ControlPanel.skn	157 KB	SKN ファイル	2006/07/28 10:03
EyeVision_Invite.skn	245 KB	SKN ファイル	2005/06/16 17:54
EyeVision_MenuDlg.skn	90 KB	SKN ファイル	2006/08/27 0:48
EyeVision_ParticipantSelection.skn	255 KB	SKN ファイル	2005/06/16 18:01
EyeVision_ProjectConferenceInputDlg.skn	269 KB	SKN ファイル	2004/05/07 12:12
EyeVision_ProjectConferenceManager.skn	503 KB	SKN ファイル	2005/01/07 14:57
EyeVision_ProjectCreation.skn	237 KB	SKN ファイル	2004/05/07 13:38
EyeVision_RecordOption.skn	102 KB	SKN ファイル	2003/09/19 22:55
EyeVision_ReserveRoom.skn	310 KB	SKN ファイル	2006/09/03 9:35
EyeVision_ShareDlg.skn	570 KB	SKN ファイル	2006/08/04 16:23
EyeVision_Video.skn	506 KB	SKN ファイル	2005/06/28 17:51

基本操作編

1. 会議予約
2. ユーザー管理画面
3. オーディオ確認

■全体メニュー■

ログイン後の最初のメニュー画面です。

各メニュー画面の詳細を説明いたします。

（イメージ）

■メインメニュー■

（イメージ）

会議予約

会議室の予約･キャンセル･会議に参加する事が出来ます。

ユーザー管理

グループ管理とユーザー管理を行うことが出来ます。
ASPの場合は、初期値が設定してありますので、特に指定が無い場合は、そのままでお使い下さい。
また、現在ログインしているメンバーを確認する事が出来ます。

オーディオ

音声･映像の動作確認とレベル調整が出来ます。
会議に参加する前にご利用下さい。

設定

プロキシサーバー･ファイヤーウォール環境下でのネットワーク設定を行います。

ログアウト

利用を終了します。

■メインメニュー：会議予約①■

（イメージ）

会議予約

会議室の予約･キャンセル･会議に参加する事が出来ます。

キャンセル

会議室のキャンセルが出来ます。
－手順－
①会議室選択
②キャンセルボタンを押す
＊この作業は、会議予約者が全ての参加者が退室した状態で行って下さい。

会議参加

会議室に参加する事が出来ます。
－手順－
①会議室選択
②会議参加ボタンを押す

更新

会議室リストを更新する時に押して下さい。

■メインメニュー：会議予約①■

会議室予約機能により、会議室の作成が出来ます。

■メインメニュー：会議予約②■

会議室予約機能により、会議室の作成が出来ます。

■メインメニュー：会議予約③■

会議室予約機能により、会議室の作成が出来ます。

Entry版では、128kbps固定となっております。

■メインメニュー：会議予約④■

会議室予約機能により、会議室の作成が出来ます。

（イメージ）

※Entry版では、低帯域固定となっております。

音質を3段階より指定出来ます。

①高音質 ［音声コーデック：G711］
（占有帯域：64kbps）
・IP電話で用いられている非圧縮のコーデックです。
・クリアな音質と安定した高音が確保出来ます。
・ライブ配信や音質を重視する会話に適しています。
－制限事項－
＊PCスペックや回線帯域により、音切れが発生致します。

②中音質 ［音声コーデック：iLBC］
（占有帯域：16kbps）
・Skypeで用いられているフリーの音声コーデックです。
・低帯域の割には安定した音質が確保出来るので、通常はこの音質を御利用願います。

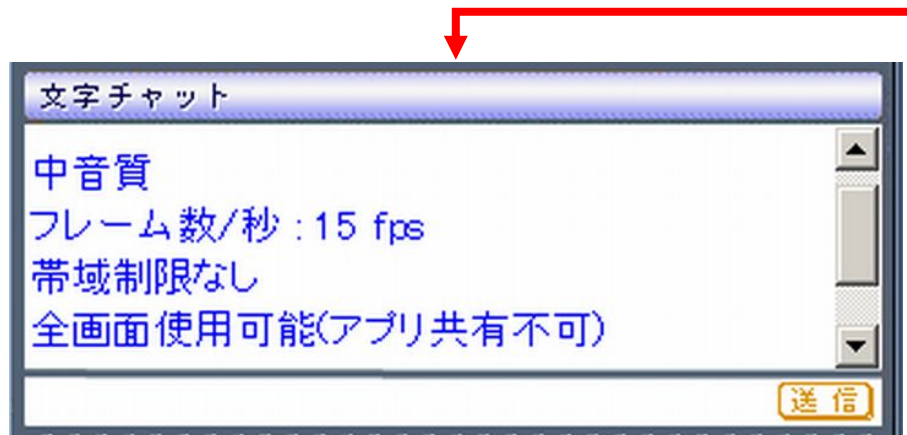
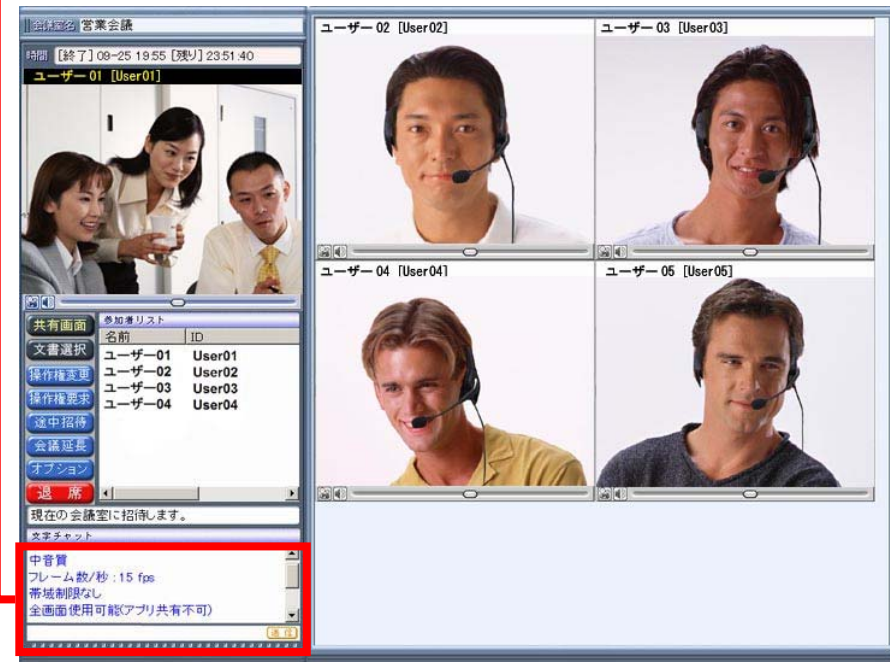
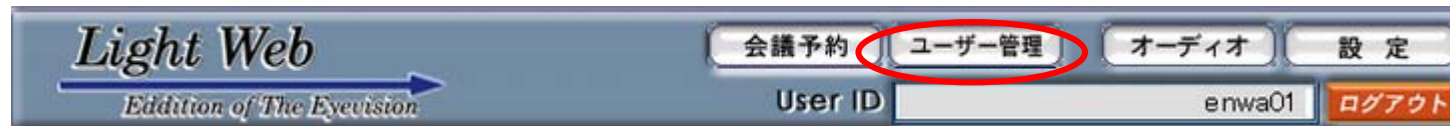
③低音質 ［音声コーデック：G723．1］
（占有帯域：6.4kbps）
・帯域優先の場合は、このコーデックを御利用願います。

設定条件につきましては、会議室テキストチャットウィンドウに表示されます。

アプリケーション共有を使用する場合は、チェックして下さい。
但しこの場合に全画面表示は使えなくなります。

※ASP版では、アプリケーション共有が使えません。

■メインメニュー：会議予約⑤■

会議室設定条件の確認

会議室の設定条件につきましては、文字チャット欄の上段より
表示させておりますので、ご利用下さい。

■メインメニュー：ユーザー管理■

ユーザー管理画面で出来ること

1．グループ登録

2．グループへのユーザー追加

＜1．2．の内容に関して＞

・各ユーザー固有の設定となります。

・会議室を組むときに必要となります。

3．各ユーザーの状態確認

①（Offline）

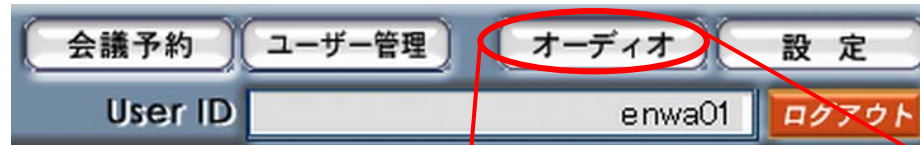
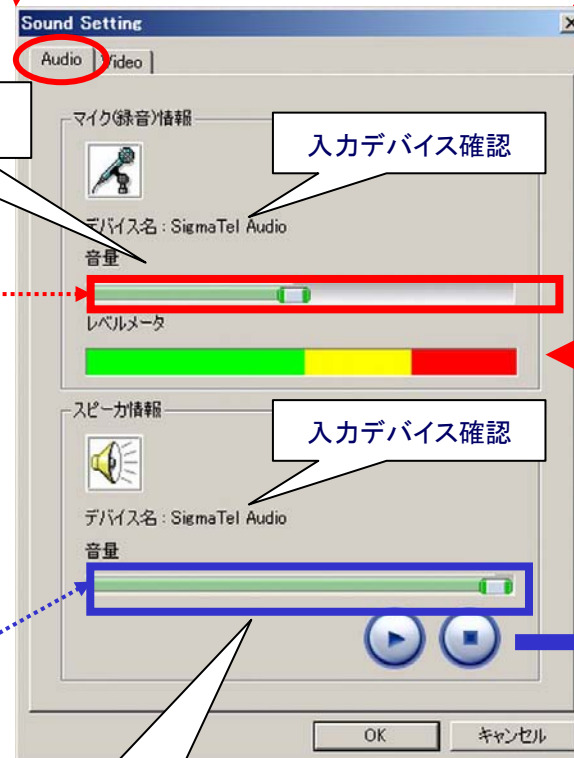
LightWebにログインして無い状態です。

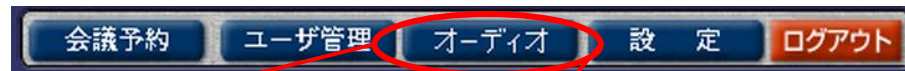
②（Online）

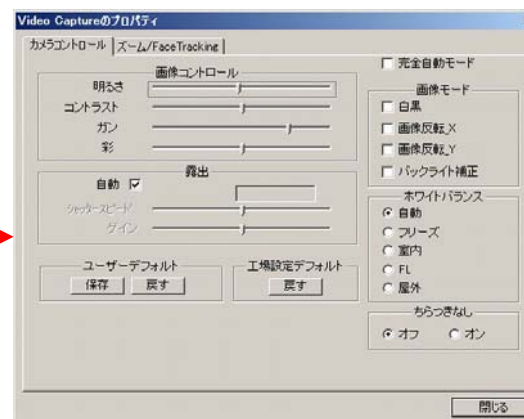
ログインはしているが、会議室に入って無い状態です。

③（Meeting）

いづれかの会議室に入室している状態です。

■メインメニュー：オーディオ①■

マイク／スピーカーに関し次の確認が出来ます。
①動作確認 （会議中も可能）
②レベル調整
③入力デバイス確認

■メインメニュー：オーディオ②■

Webカメラに関し次の確認が出来ます。
①動作確認
②詳細設定
③入力デバイス確認

－Webカメラ動作確認－
映像が確認用ウィンドウに写ります。

－Webカメラ詳細設定－
カメラ用設定プログラムを起動します。

会議室画面

映像、音声の基本操作

１．会議室への参加方法

２．会議室画面構成

３．メインメニュー

４．オプション設定

■会議室へ参加方法①（メール連動）■

担当者によって会議が予約されると「オートメール送信機能」により、参加予定メンバー全員に下記のような「会議開催」の通知メールが送られます。
このメールからは、文章内の会議参加ボタンから会議室へ直接参加することが出来ます。

（メール送信内容：例）

（注）
※推奨メーラー
Microsoft Outlookシリーズ
※ブラウザがIE以外の場合、起動しません。
※会議参加ボタンから入れない場合は、新しくブラウザを開いてURLを入力し、ログインして下さい。
その後、対象となる会議室を選択して会議に参加して下さい。

■会議室へ参加方法② ログイン ■

1．ログイン

ブラウザーにて、URL入力

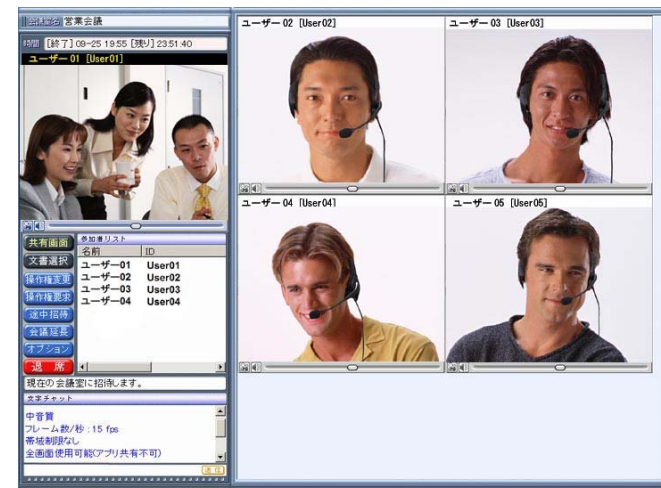
http://lightweb.evs.jp/****

ログイン画面

IDとパスワードを入力

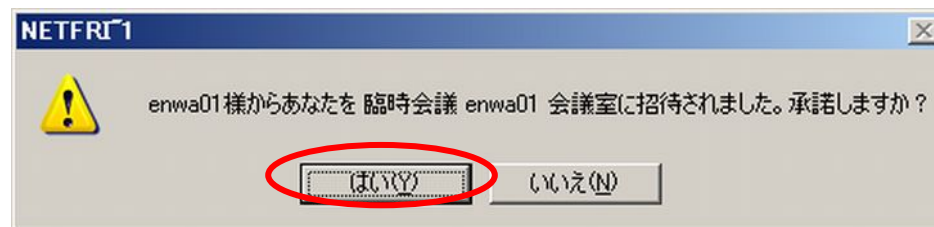
2．会議室選択 → 会議参加

②会議参加ボタンクリック

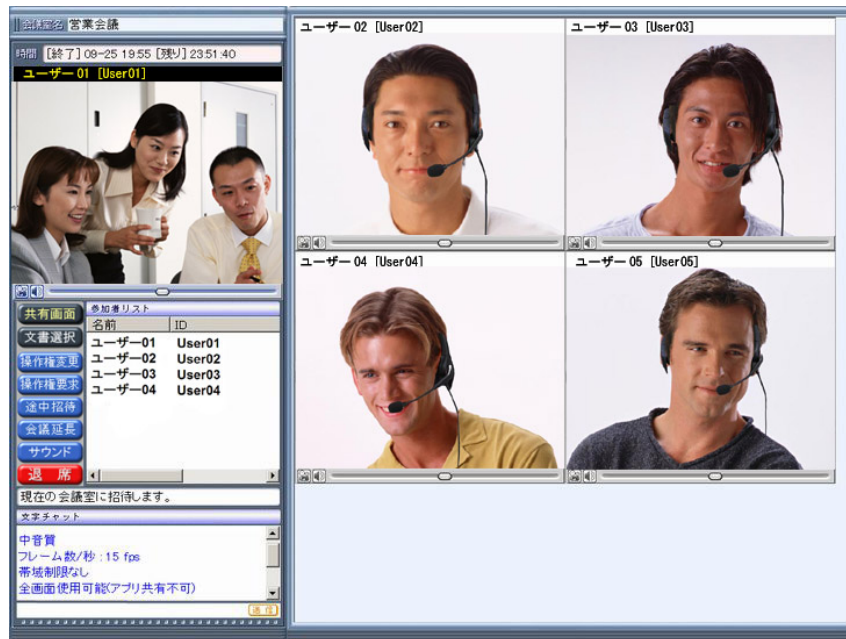
①会議室名選択

会議参加

LightWeb／利用イメージ

■会議室へ参加方法③ ポップアップ ■

ログイン中に途中招待がかかれば、ポップアップ画面が起動します。
「はい」を選択して頂くと、会議室に参加する事が出来ます。

LightWeb／利用イメージ

会議参加

■会議室用画面■

表示画面1

会議主催者　：　320×240

会議参加者　：　320×240

表示画面2

会議主催者　：　320×240

会議参加者　：　176×144

■会議室画面構成①■

会議室画面の各名称。

［会議室スキン（参加者画面サイズ大）：イメージ］

（注）会議参加中に、インターネットの接続が切断してしまった場合etc･･･

会議参加中に、5秒以上データの送受信が行われなかった場合、そのメンバーはログアウト状態となり、会議室においては参加していない状況と判断し、自動的に参加メンバーから外されます。

■会議室画面構成②■

会議参加者の画像サイズを（176×144）で会議室を組みますと会議参加者の画像は会議主催者より小さくなります。
11人以上の会議の場合は右側にスクロールが現れます。

［会議室スキン（参加者画面サイズ小）：イメージ］

スライドバーについて

自分画面　PCのマイクボリュームと連動します。
注意）ラインインとは、連動しておりません。

相手画面　相手の音声入力レベルを個別に調整出来ます。
左＝0%、右＝100%

PCのスピーカーボリュームは別途調整願います。

■会議室画面構成③■

［会議室スキン（参加者画面サイズ大）：イメージ］

音声インジゲーター

音声を視覚的に捉える事が出来ます。

自分画面インジゲーター

自分のPCのマイク入力レベルを視覚的に表示します。
＊ここが振れておれば、相手に音声が届いております。

相手画面インジゲーター

相手のPCのマイク入力レベルを視覚的に表示します。
＊ここが振れておれば、相手のマイクの音声が
　届いております。

■メインメニュー■

メニューの主な機能

文章選択

ファイル共有する文章を選択出来ます。(操作権必要)

操作権変更

操作者はその権限を他メンバーに渡すことが出来ます。

操作権要求

操作者に対し、操作権を要求する事が出来ます。

途中招待

操作者は任意のユーザーを途中参加させることができます。

会議延長

操作者は会議時間を延長する事ができます。

サウンド

スピーカーボリュームの調整とサンプル音による確認が出来ます。

退　席

会議室を退室する時に使用します。

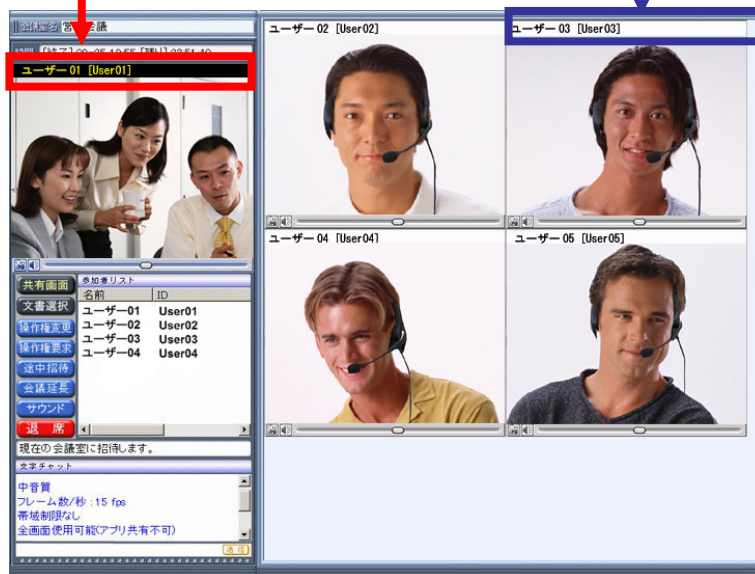
ウィンドウ切り替えボタン

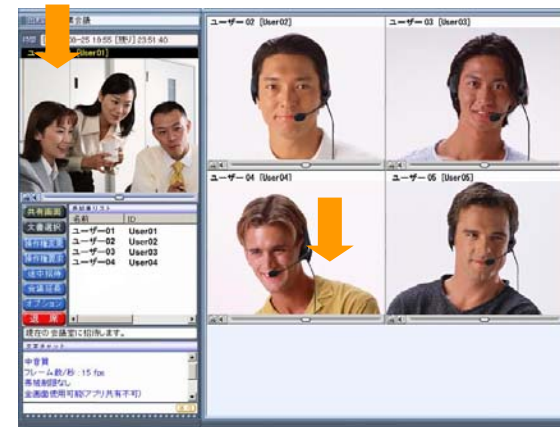
共有画面 ⇄ 会議画面

資料等を閲覧する時に共有ウィンドウ機能を使用します。
左上の共有画面ボタンを押して頂くと、共有ウィンドウ画面になり、ボタンが会議画面に変更します。
TV会議画面に戻す場合は、会議画面ボタンを押して下さい。
会議画面に戻り、ボタンは再び共有画面に戻ります。
共有ウィンドウ機能の詳しい内容は、マニュアル後半の「共有ウィンドウ画面」を参照願います。

■主催者と操作者■

会議室は、一人の主催者とその他の参加者で構成されます。 会議中の主催者の変更は出来ません。
会議室には、会議操作者が必ず存在します。
初期状態は、主催者が操作者になります。特にメインメニューの中には、操作者のみが利用できる機能があります。
また、この操作者の変更は、メインメニューの「操作者変更」より、他の参加しているメンバーへ移行できます。

■操作権変更■

ファイル共有を行なったり、共有ファイルの変更を行なうには操作権が必要です。
操作権を変更するには、2つの方法がございます。
操作権が変更された時は、テキストチャット欄に表示され、名前の色が変わります。

（イメージ）

（イメージ）

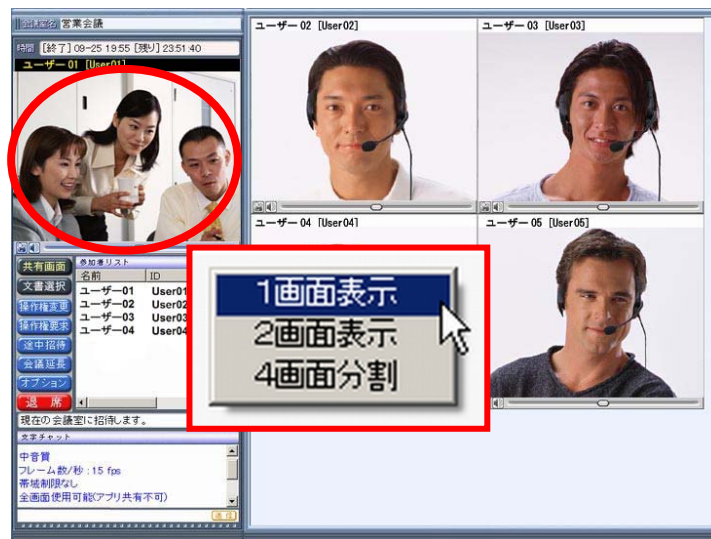
方法1　操作権変更
自分が持っている操作権を相手に渡す時に使います。
－操作手順－
①相手を選択、②操作権変更ボタンを押す

方法2　操作権要求
相手が持っている操作権を要求する時に使います。
－操作手順－
①操作権要求ボタンを押す，②相手に要求ポップアップ表示
③相手が「はい」を押すと移動

■フルスクリーン機能①■

主催者或いは参加者をフルスクリーン表示させる事が出来ます。

フルスクリーンにするには？

対象者の画像の上でマウスを右クリックし、1画面表示を押して下さい。

右クリック
1画面表示

右クリック
ESC　キー

注意
・アプリケーション共有との併用は出来ません。
・小さい画面での参加者を拡大しますと、
　粗く表示されます。

通常画面に戻すには？

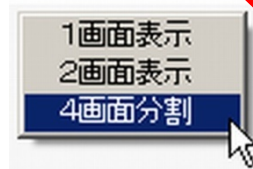
方法1）
画面上でマウスの右クリックを押す。
方法2）
キーボード上の、「ESC」キーを押しても
通常画面に戻ります。

■フルスクリーン機能②■

さらに豊富なフルスクリーン機能がございます。

自分のフルスクリーン機能

2画面表示 ［任意の相手と自分］

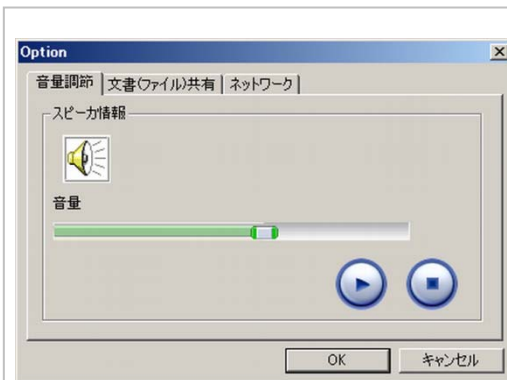
4画面表示 ［主催者＋参加者①、②、③］

参加者の3名は、会議室予約時の上位3名までです。

■テキストチャット■

ここに書かれた内容は、
全ての参加者に表示されます。

■メインメニュー■

－サウンド設定－

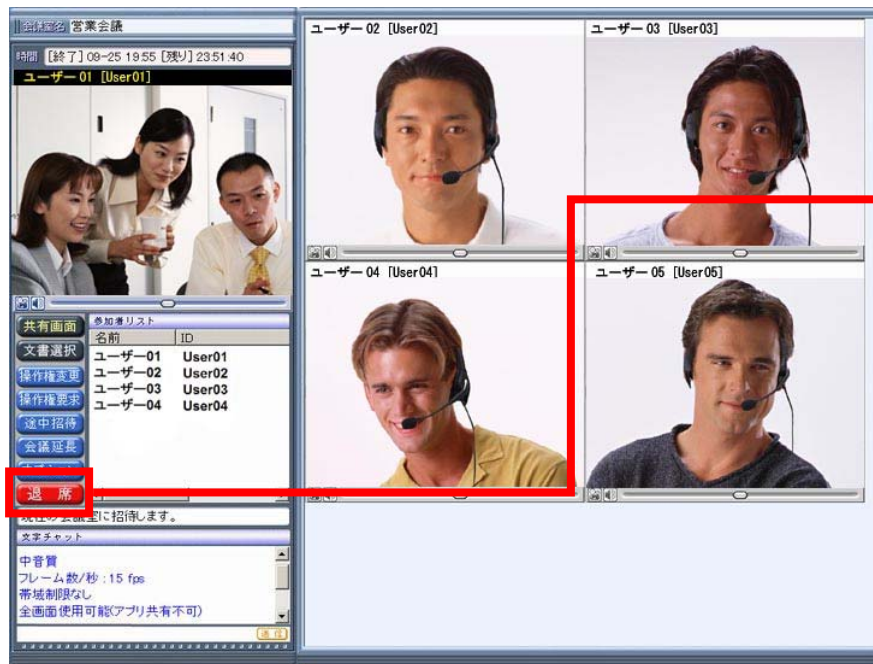
「サウンド確認」「ファイル」「ポート設定」の詳細を設定することが出来ます。

■レベルメーター
サウンドレベルの調整
→　PCの全体ボリューム
→　PCのWaveボリューム

■再生ボタン
サンプル音楽の再生
■停止ボタン
サンプル音楽の停止

ここの項目は変更しないで下さい。

ここの項目は変更しないで下さい。

■退室（EXIT）■

会議室を退室する場合は、「EXIT」ボタンをクリックして退室して下さい。
スケジュール会議(開始時間と終了時間を指定しての会議）の場合は、全員が退室しても終了時間まで会議室は残っています。会議室を削除する場合は、予約者が全員退室した状態のときに会議室のキャンセルを行う必要がございます。

（イメージ）

※ログイン前のページに戻ります。

（イメージ）

共有ウィンドウ画面

コラボレーション機能

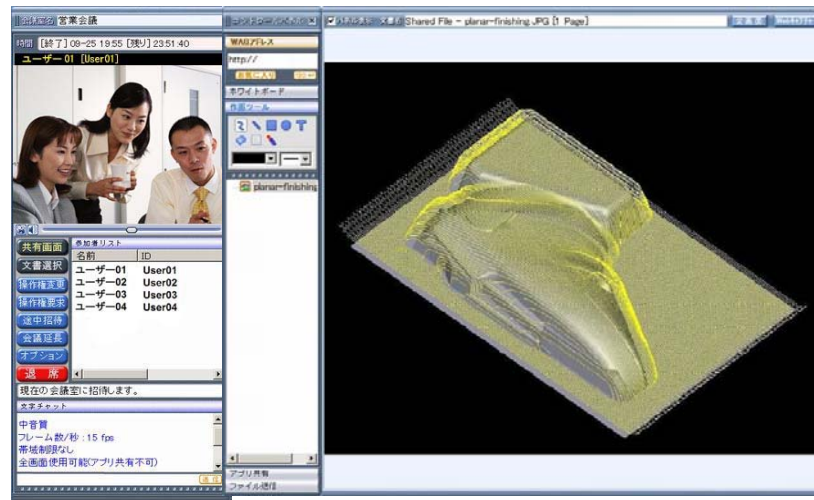
1．ファイル共有機能

2．Web共有機能

3．ホワイトボード機能

制限事項

①　DocPrintを使いイメージ変換しますので、その制限を受けます。

■ファイル共有機能(概要)■

表示可能データ及び変換イメージ

PowerPoint	→	JPEG
Excel	→	JPEG
Word	→	JPEG
JPEG	→	JPEG
GIFF	→	GIFF
TXT	→	JPEG
PDF	→	JPEG

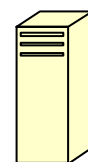
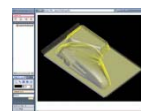
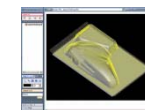
※現バージョンでは、Excelファイル共有時に表示出来ない形式がございます。

ファイル共有機能とは、パソコンで作成したデータをイメージとして変換し会議参加者のパソコン上に表示する機能です。

LightWebにおけるファイル共有のイメージ

①操作権を取得

②共有したいファイルを選択

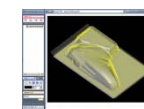
③DocPrintによるイメージ変換
変換スピードは、クライアントパソコンの能力によります。
場合によっては、落ちる事もございます。

④サーバーにアップ

⑤各クライアントに表示

⑥サーバーに蓄積されたデータ
容量の制限はございません。
会議終了と伴にデータは全て消去されます。

■ファイル共有機能（詳細）■

1．画面構成

制御パネル格納ボタン

制御パネル表示ボタン

主催者ウィンドウ　制御パネル　共有ウィンドウ

共有した文章を操作するための
コントロール画面となります。

共有された文章をみせるための表
示画面となります。
表示サイズは
約730×約650ピクセルとなります。

会議画面

モード切替メニュー
　ビデオ会議画面　　　通常の映像会議モードです。
　共有ウィンドウ画面　主催者の映像とファイル共有画面の表示となります。

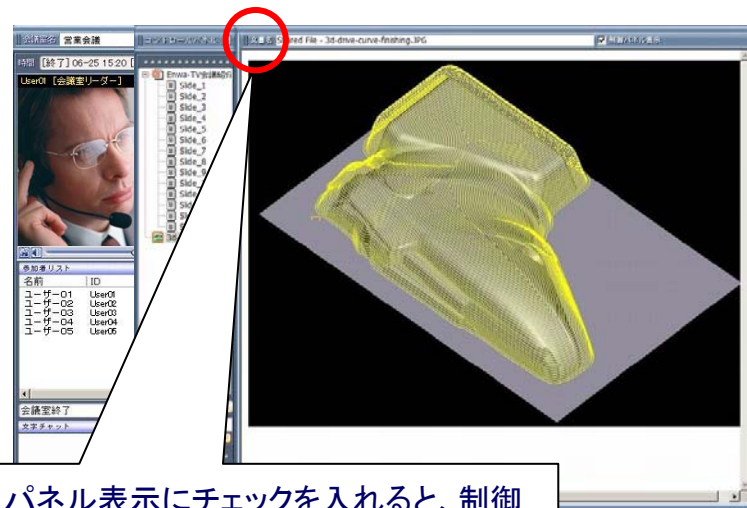
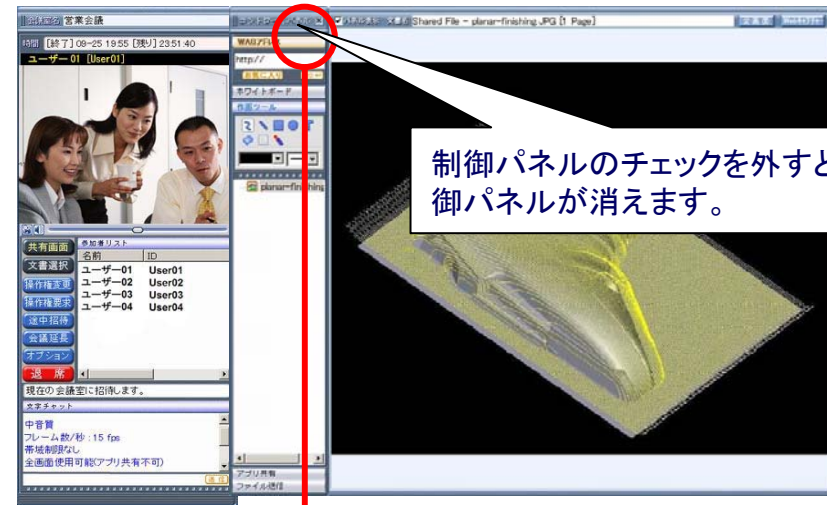
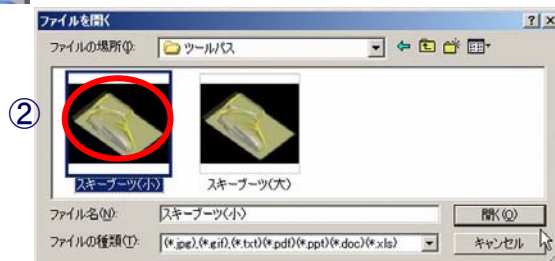
■ファイル共有機能(詳細)■

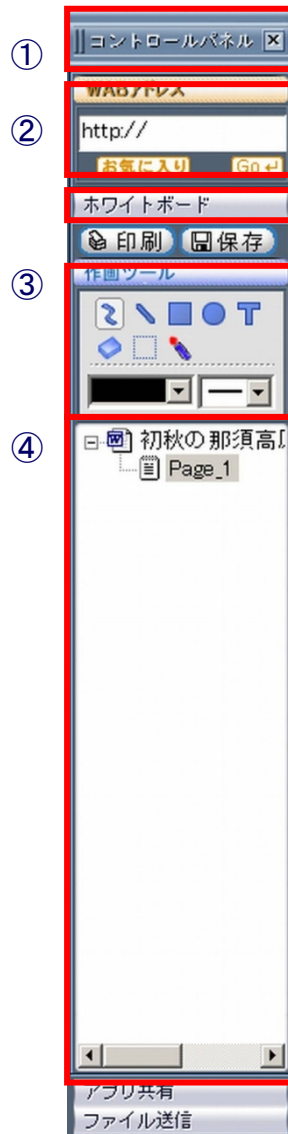
2. ファイルの開き方及び画面切り替え

①

ファイルの開き方
①文書選択
②ファイル選択
④開く

②

③

■ファイル共有機能（詳細）■

3. 制御パネル操作方法（その１）

①制御パネルを閉じるボタン
　この表示画面が閉じられている場合は、文章共有の表示画面右上にある「制御パネル表示」をチェックして表示出来ます。

②Web共有
　URLを指定する事により、Webページの共有が出来ます。
　URLの指定方法としては、直接入力かお気に入りからの選択となります。

③Webｷｬﾌﾟﾁｬｰ機能
　Web共有中にこのボタンを押すことにより、表示内容をJPEGに変換し共有する事が出来ます。

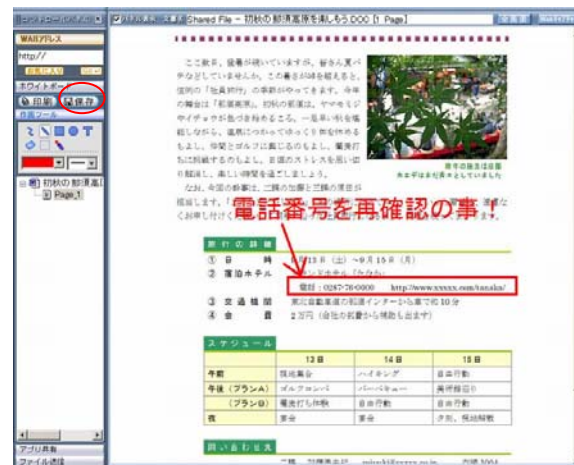
③マーキングツール
　文章の共有画面に書き込みをするために使われるメニューです。
上段：　一番左から　自由曲線・直線・四角形・円・テキスト入力
中段：　マーキングされた内容を消す消しゴム、移動の為の要素選択、
下段：　色と線の太さを指定するためのコントロール

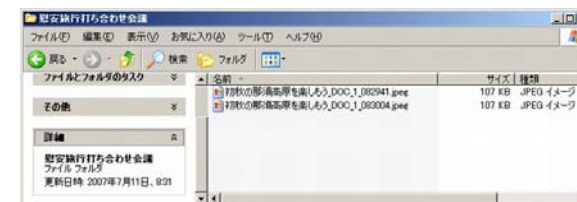
④文章リスト
　文章リストには、操作者が共有させた全ての文章が表示されます。複数シートにまたがる場合でも各スライドごとに左図のように表示されます。
　各スライドを選択すると自動的に全ユーザーの文章共有の表示画面にその内容が表れます。
　操作者のみが選択出来ます。

■ファイル共有機能（詳細）■

3．制御パネル操作方法（その2）

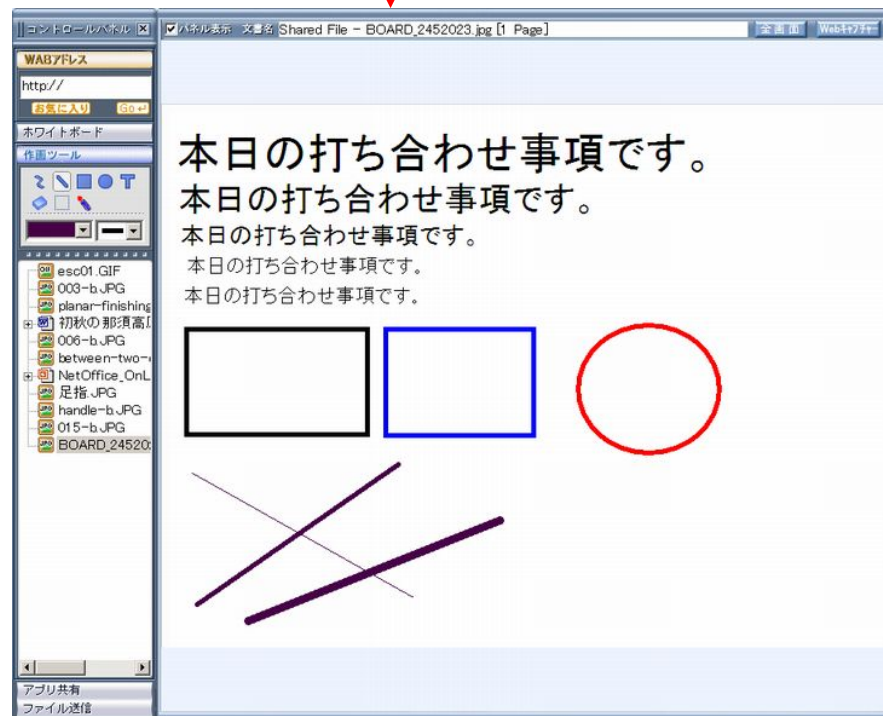
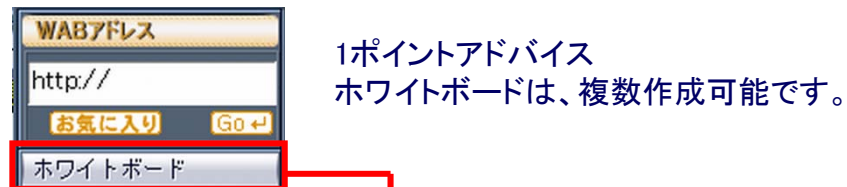
⑤保存・印刷機能
ファイル共有としてUPされた画像を、マーカーも含めて印刷及びJPEG保存が出来ます。

＜手順＞
保存ボタンを押しますと、JPEG画像が生成されます。

＜保存フォルダー＞
//MyDocuments/DocShare/会議室名

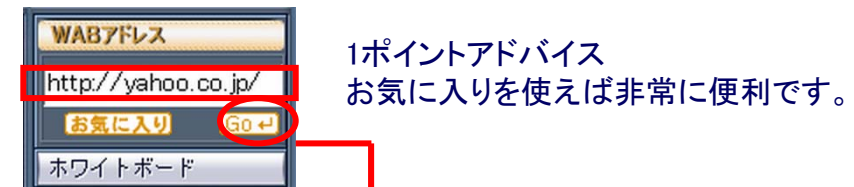
＜保存ファイル名＞
オリジナルファイル名_ファイル形式_保存時間.jpeg

■ファイル共有機能（詳細）■

4. 全画面表示

■ホワイトボード機能（概要）■

1ポイントアドバイス
ホワイトボードは、複数作成可能です。

ホワイトボード機能とは、白い下地の上にマーカーを使って自由に図形等を記入する機能です。
ペントップ等を使う事により、フリーハンドによる文字入力も可能です。
入力された情報は、各クライアントパソコンに表示されます。

■Web共有機能（概要）■

1ポイントアドバイス
お気に入りを使えば非常に便利です。

Web共有機能とは、Webサイトを共有する機能です。
情報の豊富なWebサイトを共有しながら効果的なコミュニケーションが可能となります。
マーカーによるチェックも可能であり、入力された情報は、各クライアントパソコンに表示されます。

共有ウィンドウ画面

コラボレーション機能

4．アプリケーション共有機能（オプション）

5．ファイル転送機能（オプション）

アプリケーション共有機能とは、特定のアプリケーションやデスクトップ画面を共有する機能です。
画面を共有すると全ての会議参加者たちの共有画面に同じアプリケーションが表示されます。
制御権を相手に渡すことにより、直接操作してもらうことが可能となります。
また、ファイル転送機能によりデータを相手に送信する事が可能です。

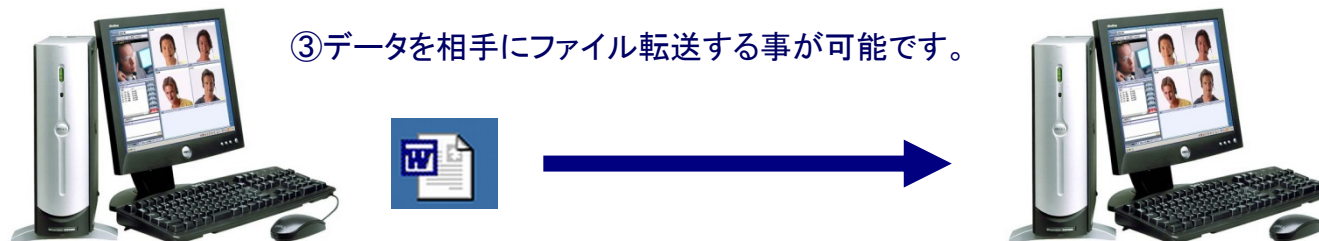
※この機能は、Rental版及びサーバー導入型での提供となります。

■アプリケーション共有及びファイル転送 （概要）■

①自分のPC上のアプリケーション自体を、相手の共有ウィンドウ画面に表示させる事が出来ます。

自分のPC上のアプリケーション（例：WORD）　　相手に表示

②制御権を渡す事により、相手に編集してもらう事も可能です。

主催者(自分)　　参加者(相手)

③データを相手にファイル転送する事が可能です。

※共有するアプリケーションに特に制限はございませんが、ファイル共有に比べかなりPCに負荷がかかりますので了承願います。
※フルスクリーン機能との併用は出来ません。

■　仕 組 み ■

アプリケーション共有及びファイル送信機能 （概要）

LightWebのT.120 activeX 連動を通じてPCで使用されているすべての応用プログラムを会議参加者と共有することが出来ます。相手から制御権を得ることにより遠隔地にあるプログラムを直接制御することも可能です。このようにプログラム共有を通じて文書を共有し、会議参加者間で編集することが可能です。T.120を通じて会議参加者に編集されたファイルを転送することもできます。

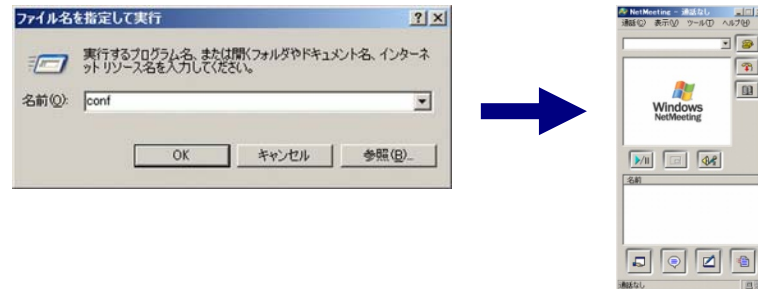
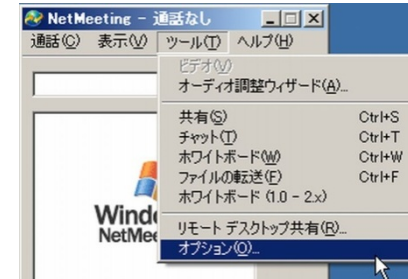
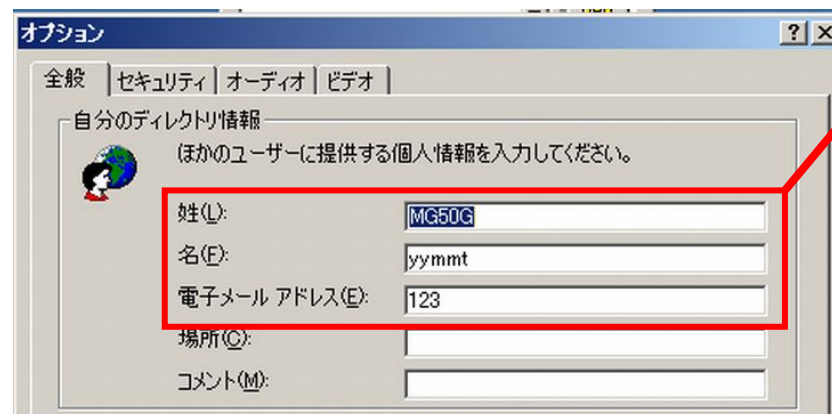
T.120
H.323 シリーズで使用するマルチメディア・データ会議のための通信プロトコルです。
T.120準拠ソフトウェアとしてはネットミーティング(Microsoft　NetMeeting)が有名です。

H.323
ITU-T(国際電気通信連合)で標準化され、サービス品質(QoS)非保証型 LAN および WAN で用いるビジュアル電話システムとその端末装置を規定した規格です。

制限事項
①プロキシサーバーには、対応しておりません。
②ファイヤーウォールには、ポート1503番をあける必要がございます。

ここがポイント
①アプリケーション共有及びファイル転送機能は、T．120コーデックにより実現される機能です。
②ファイヤーウォールを設定の場合は、ポート番号1503番を空けてください。
③プロキシサーバーを越える事は出来ません。
④クライアントPC側に、LightWebのID設定が必要です。
⑤APL共有及びファイル転送では、LightWeb　ID名が使用されます。

■ LightWeb 事前設定 ■

1．LightWeb起動
→ ファイル名を指定して実行より[conf]と入力

2．LightWeb ID名設定
→ ツール → オプション → 全般

3．LightWebID名設定

ここの3項目の入力が必須となります。

①姓（L）
APL共有及びファイル転送のID名となります。
②名（F）
APL共有及びファイル転送のID名となります。
③電子メールアドレス（E）
入力は必要ですが、LightWebでは使いません。
適当なアドレスを設定願います。

例）左図の入力の場合、
APL共有及びファイル転送のID名＝ MG50G yymmt

注意）APL共有及びファイル転送のID名は、PC固定となります。

■ アプリケーション共有（基本操作）■

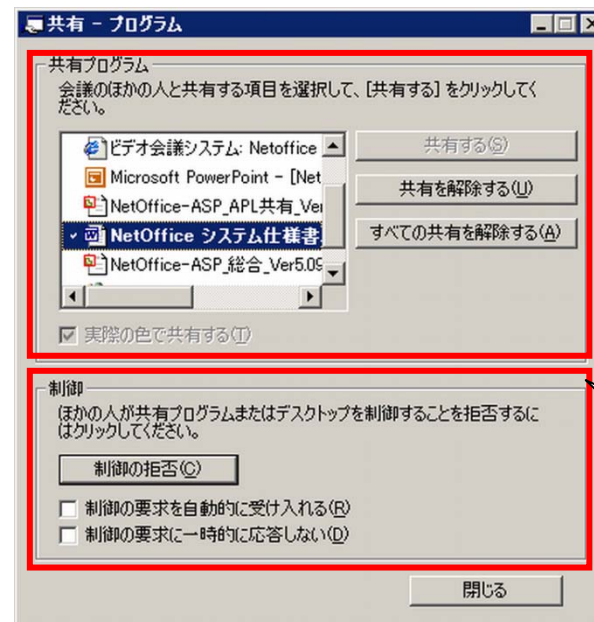
主催者側:アプリケーション共有実行

1. アプリケーション共有機能にチェック
   会議室予約時にチェックを入れないと利用出来ません。

2. 会議室の中よりアプリケーション共有設定

会議画
文書送
操作権変更
アプリ共有
ファイル送信

①共有ウィンドウ画面
②アプリ共有

共有 - プログラム
共有プログラム
会議のほかの人と共有する項目を選択して、[共有する] をクリックしてください。
ビデオ会議システム: Netoffice
Microsoft PowerPoint - [Net
NetOffice-ASP_APL共有_Ve
NetOffice システム仕様書
NetOffice-ASP_総合_Ver5.0
共有する(S)
共有を解除する(U)
すべての共有を解除する(A)
実際の色で共有する(T)
制御
ほかの人が共有プログラムまたはデスクトップを制御することを拒否するにはクリックしてください。
制御の拒否(C)
制御の要求を自動的に受け入れる(R)
制御の要求に一時的に応答しない(D)
閉じる

起動しているアプリケーションがリスト表示されます。
共有したいアプリケーションを選択して共有願います。
※共有アプリは、複数選択が可能です。
※個別に選択解除も可能です。

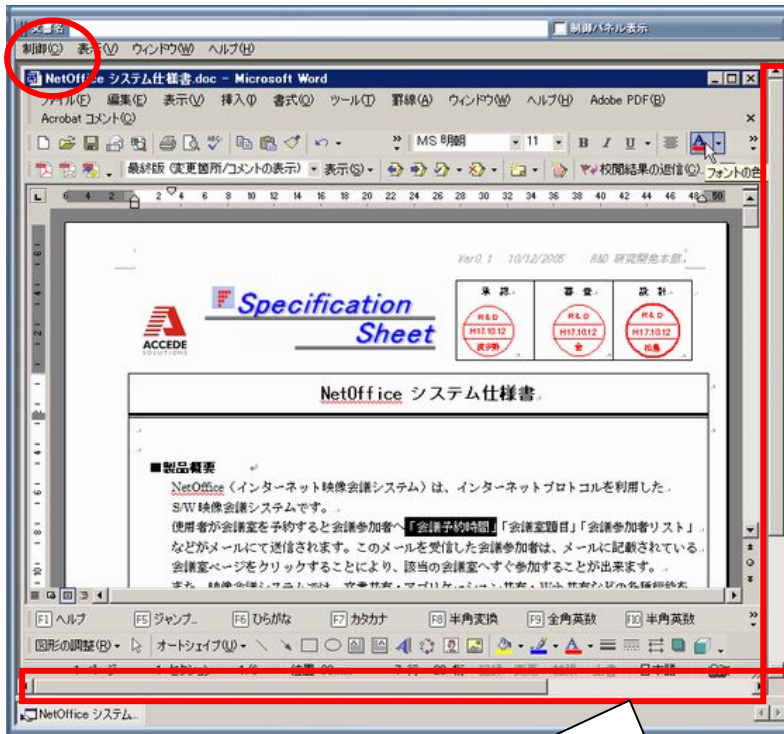
必要に応じて、色指定パラメーターを使い分け下さい。

相手に制御権を与える場合はここをクリック願います。
必要に応じて2つのパラメーターを使い分け下さい。

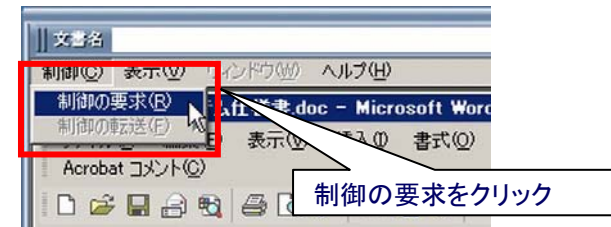
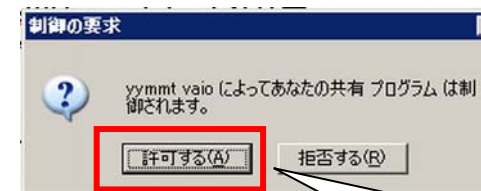
※ LightWeb ID設定がされてない場合は、会議室参加時に登録を要求されますので入力願います。（初回のみ）
※ 主催者は、事前に共有対象アプリケーションを起動願います。

■ アプリケーション共有 （基本操作） ■

参加者側：共有ウィンドウ画面

1．参加者側の共有ウィンドウ画面

共有ウィンドウエリアに表示される大きさには制限がございますのでスクロールバーにて調整願います。
各端末ごとに調整可能です。

2．制御権を取得するには！

①参加者側：制御の要求

②主催者側：制御の要求の許可

3．制御権を他メンバーに移動するには

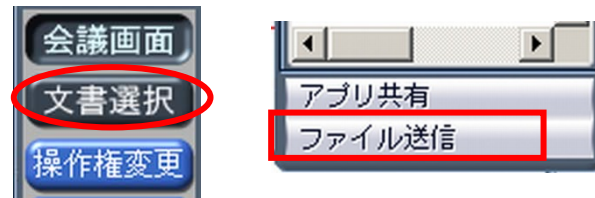
制御 → 制御の転送

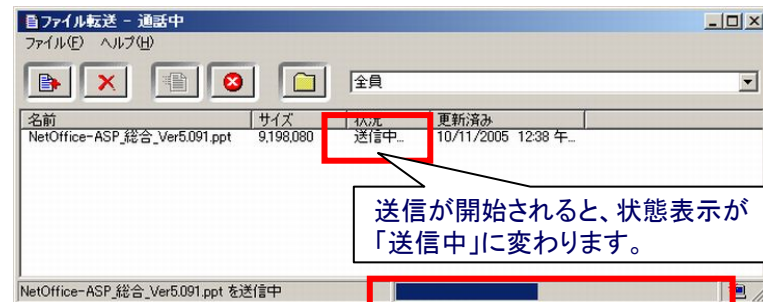
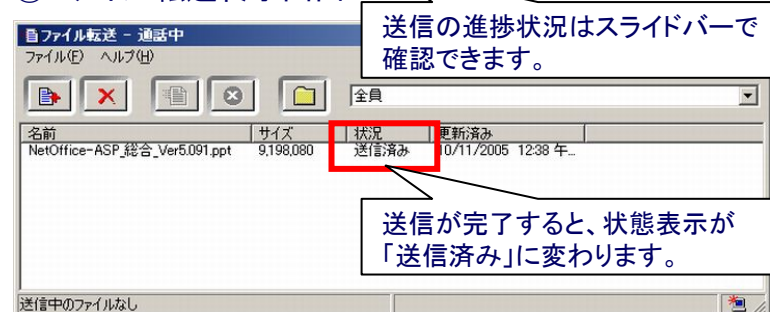
4．主催者が制御権を取り戻すには

対象アプリケーション上でマウスをクリックすることにより
被制御状態を解除する事ができます。

■ ファイル転送機能（基本操作）■

主催者側:ファイル転送実行

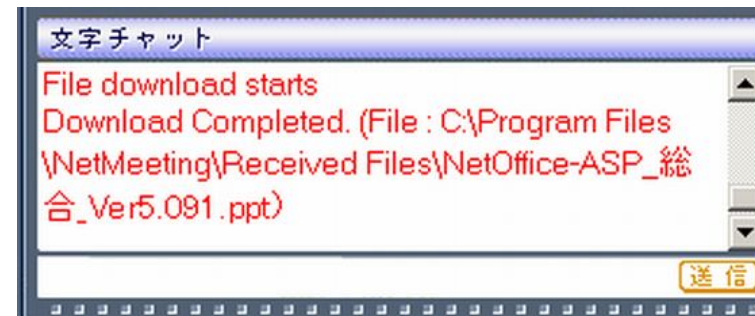
1. 会議室の中よりファイル転送機能を選択

2. 送信ファイル選択し転送先を指定して転送

①ファイル転送開始

②ファイル転送終了画面

参加者側:ファイル受信

1. 必要に応じて受信フォルダー設定願います。

※ファイル送信画面を立ち上げるには、操作権を取得して下さい。

2. ファイル受信

主催者がファイル送信を行うと、自動的に受信が始まります。
受信状況は、文字チャット欄に赤文字で表示されます。

補足説明

■ 動作環境 ■

■ 動作環境（クライアント） ■

	必　須	推　奨
OS	WindowsXP	WindowsXP[SP2] WindowsVISTA[SP1]
CPU	Celeron 1.2GHz以上	PentiumⅣ3.0GHz以上
メモリ	256MB以上［XP］	512MB以上［XP］ １GB以上［VISTA］
回線帯域（下り）	256Kbps以上	1Mbps以上
モニタ解像度	XGA（1,024×768）以上	
サウンド	入出力機能を備えたサウンドカード	
使用ポート［通常］	注１　TCP[60114,1503]	
HTTPトンネリング時	TCP[80] or TCP[443]	
ブラウザ	注２　Microsoft Internet Explorer 6.0 以上	
その他	Microsoft DirectX9.0以上 , MFCﾗｲﾌﾞﾗﾘ4.2	

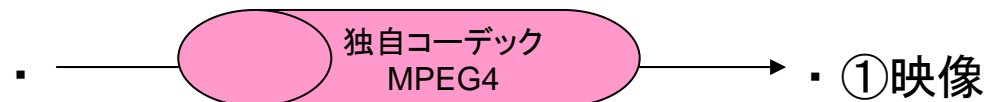
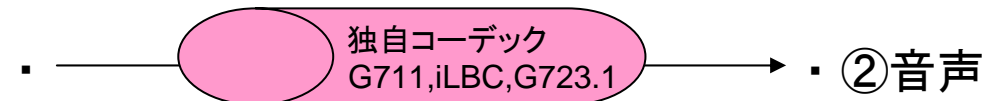
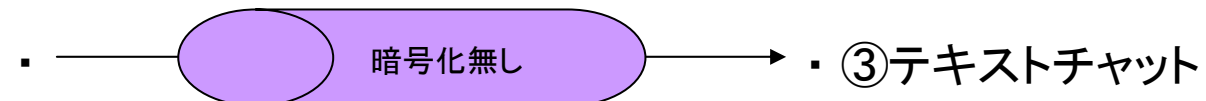
※安定動作しない場合は、PCのリカバリーをお願い致します。
※無線LAN環境下での動作は、保障の対象外となっております。
※Windows2000での運用は、保証の対象外となっております。
※PCの処理能力、周辺機器との相性、及び回線帯域が細い場合は、音切れ或いは
　音声遅延が発生する事がございます。
※改良のため、予告なしに商品仕様等を変更する事があります。
※その他制限事項に付きましては、別途補足資料を参照願います。
注１：TCP１５０３番は、アプリケーション共有で使います。
注２：IE７．０の場合は、シングルタグで使用して下さい。

■ 動作環境（サーバー） ■

OS	Linux（RedHat、CentOS、FedraCore）
CPU	Pentium4
ﾒﾓﾘ	512MB以上
HDD	10GB以上
ｿﾌﾄ	Apach 1.3,PHP 5,MySQL5.0,Java1.6
回　線	Bフレッツ　Basic以上　（20Mbps以上）

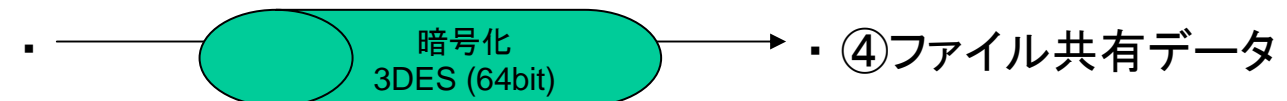
※必要回線帯域は運用により異なります。詳しくは問い合わせ下さい。

■暗号化■

LightWebの暗号化対策
・映像･音声に関して独自コーデックを使用しております。
・ファイル共有データに関しては、3DES暗号化を行っております。
制限事項
・ログイン時のユーザ名及びパスワードは、暗号化しておりません。
・テキストチャット機能においても、暗号化しておりません。
<補足>
LightWebは、2002年に基本設計された商品であり、操作性及びレスポンス重視の為に、上記仕様となっております事を了承願います。

■企業内ネットワークイメージ■

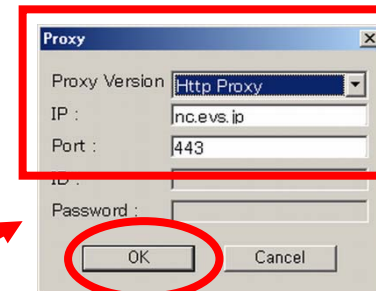
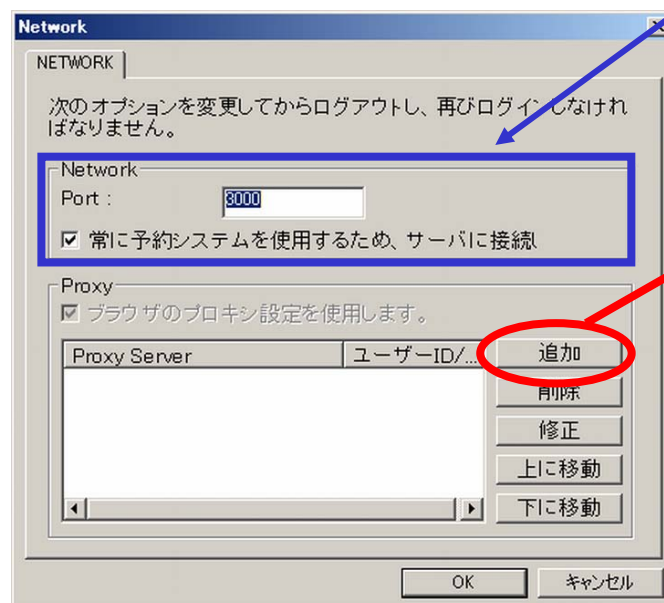
LightWebは、企業の基幹業務で利用できるように設計されております。
また、正引き逆引きにも対応しております。
貴社御利用端末より、インターネットに出るための条件を調査の上、設定画面より入力願います。

－調査項目－
①プロキシサーバーの、IPアドレスとポート番号
②多段プロキシの場合は、経路にある全てのサーバーのIPアドレスとポート番号の調査をお願い致します。
③ファイヤーウォールで、入出力で使えるポートを調査願います。
一般的には、80番から443番をご利用いただいております。

LightWebでは、最終的にポート番号1501番，1502番，1503番を使用しており、IDC内プロキシサーバーでポート変換を行っております。

■プロキシ設定画面■

1. 設定画面起動

2. 設定画面

ここの機能は、現在使っておりませんので
初期値のままにしておいて下さい。

次の順番で入力願います。
①第一プロキシサーバー
②第二プロキシサーバー
③Enwaプロキシサーバー
Http Proxy　（固定）
IP　：218.219.61.148　（固定）
Port：80 or 443　（選択）

■　帯域指定機能による音質改善　■

通信速度について

LightWeb
サーバー/IDC

通信速度　単位:kbps
上り通信における画像データ占有帯域の目標値

相手の設定値が下り通信における占有帯域となります。

1. 使用帯域について
①音声　G723. 1コーデック　6. 3kbps
②画像　MPEG4　48kbps／1フレーム(推測値)

2. 15フレーム通信を行った場合の使用帯域(目安)
　画像(48×15)+音声(6. 3)=726. 3kbps
＊MPEG4は、画像を構成要素ごとに分割し、各要素の差分を伝送する方式です。よって同じ15フレーム転送でも、データ量は128Kbps～1. 2Mbpsの間で変化します。

3. 通信速度指定による効果
　占有帯域を目標値に近づける様、1フレーム当たりの画像データを縮小します。
　48kbps　→　縮小　(画質は低下します)
＊音声帯域を確保する事が出来ます。

ー応用例ー
海外との通信等、回線帯域が細くて音声が乱れる場合にこの機能を設定すると非常に実用的です。

Web会議の問題点　音声品質が悪い

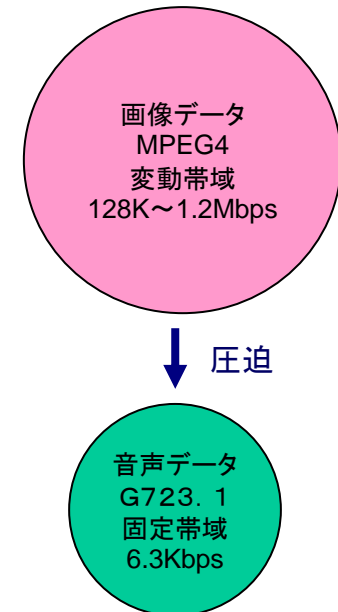
～音質が乱れるしくみ～
条件1 : 帯域幅が狭くなったとき
　例)企業内データ系と兼用、海外(特に中国)
条件2 : 画像帯域が膨らんだとき
<現象>
条件1と条件2が重なった時に、音声帯域が圧迫され、結果として、音割れ、音切れ、ノイズ、音声欠落が発生します。

画像データ
MPEG4
変動帯域
128K～1.2Mbps

↓ 圧迫

音声データ
G723. 1
固定帯域
6.3Kbps

解決　MPEG4応用テクノロジー

映像情報量が膨らんだときは、1枚当たりの画像をモザイク状にして情報量増大を抑制し、音声帯域が圧迫されないように確保します。
結果、安定した音質が確保され、また動きが止まれば映像もクリアに再現されます。

帯域指定無し
使用帯域:264kbps

帯域指定有り(32kbps)
使用帯域:26kbps

カスタマーサポートセンター

ENWA株式会社 サポートセンター

フリーダイヤル 0120-979-325

住所 〒550-0014
大阪市西区北堀江2丁目1番11号 久我ビル北館8階
TEL:06-4390-3522 FAX:06-4390-3523

対応時間 9:00～17:30
※土曜日、日曜日、祝祭日、夏季、年末年始(12／29～1／4)は
対応いたしません。

サポート体制

本マニュアルの補足説明を中心に対応させて頂きます。
状況にあわせて次の方法で対応させて頂きます。
①電話対応
②有償による訪問サポート
インターネットが繋がらない、パソコンが動かない等のトラブルに対して、
訪問によるサポートを行います。

LightWeb 取扱説明書 ／ 総合マニュアル

2009年10月1日 Ver. 9. 101 発行

著 者 :IT事業部 カスタマーサポートセンター 山元
発行所:ENWA 株式会社